

第6回行政改革推進本部会議(メモ)

出席者

- ・市長 ・助役 ・収入役 ・教育長 ・議会事務局長 ・総務部長 ・市民部長
- ・商工観光部長 ・都市建設部長(用地課長代理) ・上下水道部長 ・企画部長
- ・健康福祉環境部長 ・農林振興部長 ・教育次長 ・消防長 ・金山病院事務長
- ・萩原振興事務所長(管理課長代理) ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長
- ・金山振興事務所長 ・馬瀬振興事務所長
- ・事務局:総務課長 ・行革推進室:池戸室長、今井

会議メモ

- 1) 開会 総務部長
- 2) 本部長(市長)あいさつ
多様な業務と並行しての行革への取組みに感謝。徐々に形に現れてきている。
2~3年後の姿を見据えながら取り組んでいきたい。
- 3) 協議事項(規則により本部長が議長)
 - (1) 各部等の取組み状況の報告について
別添資料により各部長等から説明
市民部: I S M S に認証に向けた取組みを行っている。認証に向けた審査に各職員の協力をお願いしたい。
上下水: 職員人件費が料金にも反映してくる。合併の課題である料金の見直しも迫られており、アウトソーシングも含め早急にコンパクトな組織へと移行していく必要がある。
教 委: 組織改革に向けた検討行ってきた。給食センターの所長、公民館長の位置付け、決裁などの問題が残る。
下呂振興: 宿直1人体制に向けて課題を検討中。
各部長等から前回の課題
掃除の新たなルール 各庁舎ごとで検討改善する。
自治会活動への参加体制 職員への積極的な参加を引き続き推進する。
部長会議の内容の伝達方法 各部署ごとで実態に合わせ様々な方法で円滑な伝達を行う。
健康管理システム 等一のルールづくりを行ない、管理職は朝礼時等に常に配慮する。
職場でのBGM等 庁舎ごとで試行してみる方向で検討。
 - (2) 下呂市行政改革の進捗状況について
別紙資料により行革推進室長から説明。
 - (3) 分科会で検討し実施に向けた具体的事案。
別紙資料により行革推進室長から説明。担当部局の協力依頼。
 - (4) 組織改革について
市長から別紙「組織改革の方針と概要」により説明
・合併前853人の職員が820人に減少、行革の推進のためにも組織改革は避けられない。
・混乱をきたさないよう、2年間で段階的に改革していく。
・18年度を合併処理の最終年としたい。
・18年度に振興事務所の機能を見直し、以後数年、変化させないような方針での見直し。
上下水: 具体的な人数は
助 役: あくまで素案であり、議会にも相談しなければならないし、部長の意向も聞きながら進める必要もある。組織図の扱いについては部長判断で慎重に行われたい。
都市建設: 高山国道事務所出張所が総合庁舎に仮庁舎を設けるが、将来は下呂地内に事務所設置の意向もある。
: 現段階では萩原に置き、その後再度検討する。
健福: 介護保険制度の見直し作業は17年度から始まり、室の設置を17年度からとしてほしい。
教委: 決裁方法の見直しを一緒に考え、明確にしてもらいたい。

(5) 職員の希望降格制度等について

「職員の希望降格制度に関する規則」「職員の定員管理の適正化に関する取扱要綱」について、総務課長から説明。

1/31の法令審査会で最終決定するので、それまでに意見があれば総務部長・課長まで連絡されたい。

(6) 行政改革大綱について

別添資料により行革推進室長から説明。

- ・あくまでも、たたき台としての資料である。朱書き等で指示をいただきたい。各分科会長にも協議する予定。
- ・2月本部会議で詳細な内容を検討いただき、行革推進委員会に諮問し、3月に回答をいただき決定する予定。
- ・17年度においては、本大綱に基づき、具体的な実施計画を策定する予定。

(7) その他

- ・アンケートの集計結果について、部課単位の結果をまとめた。部長の手元にとどめ、今後の職員教育等の参考にされたい。(行革推進室長)
- ・健康管理体制について総務課長から別紙により説明。
- ・年代別健診：無料。人間ドック共済組合で1/2。残りをMax10千円で1/2の補助。
総務部長・2規則に伴う意見を1/31の法令審査委員会に間に合うように。
 - ・職員の動態管理を確実に行うこと。
 - ・数人の病気休暇の職員がいる。健康管理には管理職として万全を。
 - ・業者との関係に市民から批判を受けまいよう十分配慮せよ。

5) 閉会(市長)